

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	生命科学と医の倫理	単位・時間数	3単位・48時間
	講師	伊澤祐輔	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

医療の歴史、医療倫理、職業倫理について学習する

II 到達目標

医療の歴史、医療倫理、職業倫理について説明できる

III 学習内容(シラバス)

1	伝統的な医の倫理から新しい倫理へ	17	組織と細胞②
2	医療従事者の基本的義務	18	口腔内観察①
3	歯科衛生に関する権利と義務	19	細胞の一生と個体の成り立ち
4	医療倫理に関する規範とバイオエシックス	20	生殖
5	国際規範	21	遺伝と遺伝子
6	インフォームドコンセント①	22	刺激の需要と反応
7	インフォームドコンセント②	23	動物の行動と進化
8	研究と医療の倫理	24	まとめ
9	研究への協力依頼	25	
10	医療現場における人の行動	26	
11	その他医療従事者に必要とされること	27	
12	医療倫理に関連する規範と法令	28	
13	生命とは何か	29	
14	生命の誕生	30	
15	生命の変遷	31	
16	組織と細胞①	32	

IV 成績評価

課題レポートにより評価する

V 教科書

生物学(医歯薬出版)・化学(医歯薬出版)・歯科医療倫理学(医歯薬出版)
必要に応じて資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	情報科学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	土屋 稔	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

情報の取り扱い(情報化社会、個人情報保護、守秘義務)、基本的なパソコン操作(文書ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト等)について習得する。また、プレゼンテーションの手法について学習する。

II 到達目標

情報の取り扱いの注意点について説明できる。上記のソフトを使用して、基本的な書類を作成できる。簡単なプレゼンテーションが実践できる。

III 学習内容(シラバス)

1	「情報」とは:個人情報の取り扱い、守秘義務について、情報リテラシー(情報機器、ITネットワークの活用)、情報社会のモラルとセキュリティ
2	パソコンの仕組みと選び方:OSとは、パソコンの仕様について 電子メールの仕組みと設定
3	文献とは:文献検索の方法、Webを活用した薬の調べ方 パソコン基本的操作(フォルダ管理、Officeソフトの活用、便利なショートカットキー)
4	文書・レポートの作成方法①:文書作成ソフト(Microsoft Word)の使用方法 (ページ設定、ドキュメントの保存、文字入力と編集、レイアウト編集、画像の挿入・編集など)
5	文書・レポートの作成方法②:文書作成ソフト(Microsoft Word)の使用方法 (図形の挿入、表の挿入、ページ番号挿入、段組み設定など)
6	データのまとめ方①:表計算ソフト(Microsoft Excel)の使用方法、関数の使い方 (文字入力、セルの書式設定:表示形式、罫線、塗りつぶし、計算式の入力など)
7	データのまとめ方②:表計算ソフト(Microsoft Excel)の使用方法、関数の使い方 (関数、データの並べ替えとフィルタ、ページレイアウト:印刷設定)
8	プレゼンテーションの資料の作成と方法:プレゼンテーションソフト(Microsoft PowerPoint)の使用方法 (スライドデザインの設定、文字入力、画像の挿入・編集、アニメーション設定、ノート昨日など)

IV 成績評価

課題レポートにより評価する

V 教科書

配布プリント

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	心理学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	大井京子	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

心理の基礎、発達過程における心理面の変化について学習する

II 到達目標

心理の基礎、発達過程における心理面の変化について説明できる

III 学習内容(シラバス)

1	感覚と知覚
2	記憶と学習のメカニズム
3	欲求とパーソナリティ、ストレスの対処法
4	思考と問題解決
5	発達
6	精神科の治療①
7	精神科の治療②
8	心理学の歩みと研究

IV 成績評価

課題レポートにより評価する

V 教科書

心理学(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	保健体育 I	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	峯 一貴	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質と能力を身につける。

II 到達目標

グループ活動を実施し、グループのメンバーと連帯し、運動習慣を身に着ける。

III 学習内容(シラバス)

1	オリエンテーション
2	校外学習に向けての準備
3	校外学習に向けての準備
4	校外学習に向けての準備
5	校外学習
6	校外学習
7	校外学習
8	郊外学習

IV 成績評価

出席状況、受講態度等を総合的に判断して評価する。

V 教科書

必要に応じて資料配布をする。

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科英語	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	長浦舞由	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

基礎的な歯科英語を身に付け、様々な場面で役に立つ表現を学習する

II 到達目標

基礎的な歯科英語について、日本語名と英語名を一致させることができる

III 学習内容(シラバス)

1	オリエンテーション
2	歯と栄養
3	問診表
4	インフォームドコンセント
5	歯科医療に携わるもの
6	全身疾患・歯科疾患
7	歯科衛生士の仕事とは
8	まとめ

IV 成績評価

レポート課題により評価する

V 教科書

歯科英語(医歯薬出版)、必要に応じて資料配布する。

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	医療研究 I	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	新井啓介	担当教員	採用予定

I 教育目標

医療における研究について理解し、自ら探求する意識をもつ

II 到達目標

歯科に関わる医学文献を精読し、その文献構成や内容を理解し、抄録の作成ができる。

III 学習内容(シラバス)

1	研究とは
2	研究課題の見つけ方
3	文献検索
4	研究の倫理
5	データの管理
6	図表の作成
7	医療統計①
8	医療統計②

IV 成績評価

課題レポートにて評価する。

V 教科書

臨床検査(医歯薬出版)

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	保健体育Ⅱ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	辻 健	担当教員	採用予定

I 教育目標

心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質と能力を身につける。

II 到達目標

グループ活動を実施し、グループのメンバーと連帯して行動できる

III 学習内容(シラバス)

1	オリエンテーション
2	グループディスカッション
3	グループディスカッション
4	グループディスカッション
5	フィールドワーク
6	フィールドワーク
7	フィールドワーク
8	フィールドワーク

IV 成績評価

出席状況、受講態度等を総合的に判断して評価する。

V 教科書

必要に応じて資料配布をする。

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	医療研究Ⅱ	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

研究の意義、研究手法、研究計画、研究結果のまとめ方について学習する

II 到達目標

研究における倫理的思考を身に付け、研究計画書を作成することができる。

III 学習内容(シラバス)

1	オリエンテーション
2	論文とは何か
3	研究デザイン
4	論文中の統計手段を学ぶ①
5	論文中の統計手段を学ぶ①
6	論文中の統計手段を学ぶ①
7	文献抄読
8	文献抄読
9	文献抄読
10	文献抄読
11	文献抄読
12	文献抄読
13	演習・発表
14	演習・発表
15	演習・発表
16	演習・発表

IV 成績評価

課題レポートにて評価する。

V 教科書

必要に応じて資料配布する。

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	解剖学	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	稲葉貴宏	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

人体の成り立ちを理解するために、体の構造に関する基本的知識について習得する

II 到達目標

人体を構成する10器官について説明ができる。それぞれの器官系を構成する器官について説明ができる。

III 学習内容(シラバス)

1	解剖学総論、人体の構成と区分、基本的な組織構造
2	骨格系①
3	骨格系②
4	筋系―骨格筋①
5	筋系―骨格筋②
6	消化器系①
7	消化器系②
8	循環器系①
9	循環器系②
10	感覚器系
11	神経系
12	呼吸器系
13	泌尿器系
14	内分泌系
15	生殖器系
16	まとめ

IV 成績評価

筆記試験100%により評価する

V 教科書

人の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	生理学	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	新井啓介	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯科衛生士として、必要な身体生理機能について理解する

II 到達目標

人体における各系統および器官の機能について説明できる

III 学習内容(シラバス)

1	生理学概論
2	細胞と組織
3	発生
4	筋と運動
5	消化と吸収①
6	消化と吸収②
7	脈管系①
8	脈管系②
9	感覚
10	神経系①
11	神経系②
12	呼吸①
13	呼吸②
14	腎機能と排尿
15	内分泌
16	体温

IV 成績評価

学力試験(筆記)にて評価する

V 教科書

解剖学・組織発生学・生理学(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	生化学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	大内邦弘	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

人の栄養摂取の成り立ちと五大栄養素について学び「食事指導法」の学習へつなぐ

II 到達目標

人の栄養摂取の成り立ちと五大栄養素について学び「食事指導法」の説明ができる

III 学習内容(シラバス)

1	生体構成成分
2	糖質
3	歯質
4	タンパク質
5	核酸
6	酵素
7	ビタミン
8	まとめ

IV 成績評価

レポート課題にて評価する

V 教科書

人体の構造と機能2 栄養と代謝(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	口腔解剖学	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	山本利春	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯科衛生士に必要な口腔解剖学の知識を習得する

II 到達目標

口腔、頭蓋、頭頸部の筋、顎関節、唾液腺の構造を説明することができる

III 学習内容(シラバス)

1	口腔前庭、固有口腔の構造を学修する
2	頭蓋を構成する骨を学修する
3	顔面筋の種類と名称を学修する
4	咀嚼筋の種類と名称を学修する
5	顎下三角とオトガイ三角を学修する
6	顎関節の構造を学修する
7	頭頸部の動脈を学修する
8	頭頸部の静脈を学修する
9	頭頸部のリンパ器官系を学修する
10	三叉神経について学修する
11	顔面神経について学修する
12	舌咽神経について学修する
13	迷走神経について学修する
14	舌下神経について学修する
15	唾液腺の種類と構造について学修する
16	咽頭と喉頭の構造について学修する

IV 成績評価

小テスト30%、本試験70%で評価する

V 教科書

歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯牙解剖学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	山本利春	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯科衛生士に必要な歯牙解剖学の知識を取得する。

II 到達目標

各種歯の構造を説明することができる。

III 学習内容(シラバス)

1	一般的な歯の構造を学修する
2	各種永久歯の構造を学修する
3	各種乳歯の構造を学修する
4	歯列と咬合について学修する
5	エナメル質について学修する
6	象牙質について学修する
7	セメント質について学修する
8	歯根膜について学修する

IV 成績評価

小テスト30%、本試験70%で評価する

V 教科書

歯・口腔の機能と構造 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	口腔生理学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	山本利春	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯科衛生士に必要な口腔生理学の知識を修得する

II 到達目標

各種口腔の機能を説明することができる

III 学習内容(シラバス)

1	口腔・顔面領域の感覚について学修する
2	味覚の機能を学修する
3	嗅覚の機能を学修する
4	下顎の運動・顎関節について学修する
5	接触行動について学修する
6	吸啜運動について学修する
7	嚥下について学修する
8	嘔吐について学修する

IV 成績評価

小テスト30%、本試験70%で評価する

V 教科書

歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生顎・口腔生理学(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	病理学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	岡崎達也	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

病因と病態についての知識を習得する

II 到達目標

病因と病態についての説明ができる

III 学習内容(シラバス)

1	病理学序論と病因論
2	遺伝性疾患と奇形
3	循環障害
4	代謝障害と退行性病変
5	増殖と修復
6	炎症と芽根季応答異常
7	腫瘍
8	まとめ

IV 成績評価

レポート課題により評価

V 教科書

疾病の成り立ち及び回復過程の促進 病理学・口腔病理学(医歯薬出版)、必要に応じて資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	口腔病理学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	岡崎達也	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

口腔領域の先天異常についての知識を習得する。

II 到達目標

口腔領域の様々な疾患の基礎を学び、臨床歯科医学の説明ができる。

III 学習内容(シラバス)

1	歯の発育異常
2	歯の損傷と着色・付着物
3	う蝕 象牙質・歯髄複合体の病態
4	死守組織の病態 口腔粘膜の病変
5	口腔領域の嚢胞と腫瘍 口腔癌
6	顎骨の病変 唾液腺の病変
7	口腔領域の奇形
8	まとめ

IV 成績評価

レポート課題により評価する

V 教科書

疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	微生物学	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	中村 楓	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

感染と芽根季と生体との関連についての基礎知識を習得する

II 到達目標

病理学、薬理学の知識と関連付け、臨床歯科医学の学習につなげていく

III 学習内容(シラバス)

1	疾病と微生物①
2	疾病と微生物②
3	微生物の病原性 総論①
4	微生物の病原性 総論②
5	微生物の病原性 各論①
6	微生物の病原性 各論②
7	微生物の病原性 細菌
8	微生物の病原性 ウイルス
9	免疫構成 宿主防衛と免疫①
10	免疫構成 宿主防衛と免疫②
11	液性免疫
12	細胞免疫
13	口腔微生物
14	口腔感染症
15	化学療法
16	まとめ

IV 成績評価

ミニテスト、定期試験

V 教科書

疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学(医歯薬出版)

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	薬理学	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	佐藤 慎	担当教員	採用予定

I 教育目標

薬物についての基礎知識及び薬物が及ぼす生体への影響を学習する

II 到達目標

薬物についての基礎知識及び薬物が及ぼす生体への影響を説明できる

III 学習内容(シラバス)

1	薬物の作用
2	薬物の副作用
3	抹消神経系に作用する薬物
4	抹消神経系に作用する薬物
5	中枢神経系に作用する薬物
6	中枢神経系に作用する薬物
7	循環器系も作用する薬物
8	循環器系も作用する薬物
9	腎臓に作用する薬物
10	呼吸器系、消化器系に作用する薬物
11	血液に作用する薬物
12	免疫と薬
13	悪性腫瘍と薬 代謝疾患治療薬
14	ビタミンとホルモン 炎症と薬
15	局所麻酔薬 抗感染症薬
16	まとめ

IV 成績評価

レポート課題により評価する

V 教科書

疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	保健生態学	単位・時間数	3単位・48時間
	講師	菊池 聡	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯と口腔の疾病の予防と健康増進について習得する

II 到達目標

歯と口腔の疾病の予防と健康増進について学習し、臨床歯科医学のつながりを説明できる

III 学習内容(シラバス)

1	オリエンテーション	16	母子保健
2	健康の概念	17	学校保健
3	疫学	18	成人保健
4	人口	19	産業保健
5	健康と環境	20	高齢者保健
6	感染症	21	精神保健
7	食品と健康	22	災害時の歯科保健
8	歯と口腔の健康	23	国際保健
9	歯科疾患の疫学	24	まとめ
10	口腔清掃		
11	う蝕の予防		
12	フッ化物によるう蝕予防		
13	歯周疾患の予防		
14	その他の疾患・異常の予防		
15	地域保健・公衆衛生		

IV 成績評価

課題レポートにより評価する

V 教科書

歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み1
保健生態学(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	保健・医療・福祉の制度	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	鈴木健司	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

社会保険制度の種類と歴史、医療・福祉と歯科医療の関係、地域包括ケアシステム、多職種連携について学習する

II 到達目標

社会保険制度の種類と歴史、医療・保健・福祉と歯科医療の関係、地域包括ケアシステム、多職種連携について説明ができる

III 学習内容(シラバス)

1	保険・医療・福祉とは
2	医療法
3	歯科医師法・歯科衛生士法・歯科技工士法
4	歯科医療とかわる職種の法律
5	地域包括ケアシステム
6	その他の関連法規
7	社会保障制度
8	医療の動向

IV 成績評価

課題レポートにより評価する

V 教科書

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 保険・医療・福祉の制度(医歯薬出版)

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	保健情報統計学	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	大内邦弘	担当教員	採用予定

I 教育目標

疫学と歯科保健統計及び地域歯科保健活動に関する基本的知識について習得する。

II 到達目標

衛生学・公衆衛生学の知識と関連付け、「歯科保健指導論」「衛生行政・社会保障」の学習へとつなげていく。

III 学習内容(シラバス)

1	保健情報と保健統計
2	保健情報の種類
3	国家系統調査
4	保健情報と疫学
5	疫学の方法論
6	歯科疾患の指数
7	歯周疾患の指数
8	口腔清掃状態の指数
9	歯のフッ素指数
10	保健情報の分析手順
11	母集団と標本抽出
12	保健統計の方法
13	推定と信頼区間
14	保健情報の分析演習
15	情報の保護と倫理
16	まとめ

IV 成績評価

レポート課題により評価する

V 教科書

歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み3
保健情報統計学(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	歯科介護学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	石塚洋子	担当教員	採用予定

I 教育目標

介護技術の全般を学び要介護者が主体性を維持できるよう基礎を身に付ける

II 到達目標

介護技術の全般を学び要介護者が主体性を維持できるよう説明ができる

III 学習内容(シラバス)

1	職業倫理
2	人間の尊厳
3	コミュニケーション技術
4	高齢者に多い病気
5	認知症の理解
6	食事、口腔ケア
7	居住・環境整備概論
8	まとめ

IV 成績評価

終講試験で判定します。

V 教科書

資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科衛生学総論	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	遠藤美香沙・他	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯科衛生士に必要な医療・保健・福祉の総論を学び、医療者としてのあるべき態度を身につける。

II 到達目標

歯科衛生士の総論を学び、医療従事者としての自覚を持つことができる。

III 学習内容(シラバス)

1	歯科衛生士の歴史・予防の概念1
2	歯科衛生士に歴史・予防の概念2
3	歯科衛生士とは
4	歯科衛生活動のための理論
5	歯科衛生課程
6	歯科衛生課程演習
7	臨床考察・レポートの書き方
8	まとめ

IV 成績評価

定期テスト 小テスト

V 教科書

歯科衛生士学総論 歯科衛生学シリーズ用語集（医歯薬出版）

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	歯科衛生士概論	単位・時間数	1単位・16単位
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

歯科衛生士に必要な基本的な知識や態度を実際の臨床を想定して、実践できる能力を身につける。

II 到達目標

臨床を想定した歯科衛生士業務を論理的に述べることができる。

III 学習内容(シラバス)

1	現場で働く歯科衛生士さんの話
2	歯科衛生士法と歯科衛生士業務
3	歯科衛生士と歯科衛生士法
4	安全管理
5	歯科衛生士の活動と組織
6	歯科衛生士と医療倫理
7	ペーパーペーシェント討論1
8	ペーパーペーシェント討論2

IV 成績評価

終講時に課題レポートで評価する。

V 教科書

資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯周病学	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	清水 学	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯周病についての正しい知識を持ち、技術を身につけ、歯科衛生士としての業務、役割を学ぶこと。

II 到達目標

歯周病についての正しい知識を持って、説明できるようになること。

III 学習内容(シラバス)

1	歯周病概論
2	正常な歯周組織
3	歯周病の原因
4	歯周病の分類
5	歯周治療の進め方
6	歯周病の検査①
7	歯周病の検査②
8	歯周基本治療①
9	歯周基本治療②
10	歯周外科治療①
11	口腔機能回復治療
12	メンテナンス
13	歯周治療の重要ポイント振り返り①
14	歯周治療の重要ポイント振り返り②
15	歯周治療の重要ポイント振り返り③
16	まとめ

IV 成績評価

復習小テスト 定期テスト

V 教科書

歯周病学(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	保存修復学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	山本達也	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

保存修復学の概念ならびに基礎的事項を身につけ、臨床で求められる知識や施術法を修得する。

II 到達目標

- ・歯の硬組織疾患の特徴について説明ができる
- ・歯冠修復時の前準備について説明できる
- ・各種修復方法について説明できる

III 学習内容(シラバス)

1	硬組織疾患とその検査方法
2	窩洞と保存修復治療の流れ
3	前準備処置、切削器械、切削具および歯髄保護
4	セラミックインレー修復、CAD/CAMインレー修復、ラミネートベニア修復について
5	メタルインレー修復とグラスアイオノマーセメント修復について
6	コンポジットレジン of 基本的な知識
7	コンポジットレジン修復の特徴
8	まとめ

IV 成績評価

学力試験により評価する

V 教科書

保存修復学・歯内療法学(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯内療法学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	山本達也	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯内療法学を理解するために必要な基礎的事項、臨床で求められる知識や治療法を習得する。

II 到達目標

- ・歯科衛生士業務における歯内療法役割について説明できる。
- ・歯髄疾患および根尖性歯周疾患の治療法について説明できる。
- ・歯内療法を実施するにあたり必要な器材、薬剤について説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	歯内療法の概要
2	歯髄の保存療法
3	歯髄の除去療法(生活歯髄切断法、技髄法)
4	根管治療の術式・使用器材および使用薬剤①
5	根管充填の術式・使用器材および使用薬剤②
6	外傷歯の治療
7	外科的歯内療法
8	まとめ

IV 成績評価

学力試験により評価する

V 教科書

保存修復学・歯内療法学(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科補綴学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	清水峰太	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯の欠損の原因と治療法及びそのメンテナンスについての知識を習得する。

II 到達目標

歯の欠損の原因と治療法及びそのメンテナンスについての知識を説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	歯科補綴の概要
2	補綴歯科治療の基礎知識
3	補綴歯科治療における検査
4	クラウン・ブリッジ治療
5	有床義歯治療
6	インプラント治療
7	特殊な口腔内装置を用いる治療
8	補綴歯科治療における器材

IV 成績評価

ミニテスト、定期テストにて評価

V 教科書

歯科補綴学(医歯薬出版)

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	小児歯科学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	三木崇裕	担当教員	採用予定

I 教育目標

小児の成長発育を理解し、歯科衛生士の業務や役割について学ぶ。

II 到達目標

小児期にみられる口腔組織疾患や診療補助時の対応法について説明ができる。

III 学習内容(シラバス)

1	小児歯科医療の特性
2	心身の発育と特徴
3	顎顔面の発育
4	歯列の発育と異常
5	歯科疾患・小児虐待
6	小児歯科診療の対応
7	小児のう蝕予防
8	まとめ

IV 成績評価

学力試験により評価する

V 教科書

小児歯科学(医歯薬出版) 必要に応じて資料を配布する

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科矯正学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	村上明日香	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

顎、顔面の成長及び不正咬合の理解とその治療法について学習する

II 到達目標

顎、顔面の成長及び不正咬合の理解とその治療法について説明できる

III 学習内容(シラバス)

1	矯正歯科治療の概要
2	成長発育
3	不正咬合
4	診断学
5	矯正歯科治療と力
6	矯正装置
7	矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割
8	矯正患者と口腔保健管理

IV 成績評価

ミニテスト、定期試験

V 教科書

歯科矯正学(医歯薬出版)

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	口腔外科学	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	富田美穂子	担当教員	採用予定

I 教育目標

顎、口腔領域の疾患についてとその治療法について学習する。

II 到達目標

顎、口腔領域の疾患についてとその治療法について説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	口腔外科の概要
2	顎口腔領域の先天異常
3	転位歯
4	外相と疾患
5	顎関節病変
6	口腔粘膜の病変
7	赤血球系の疾患
8	顎骨の炎症
9	腫瘍の分類と代表的な腫瘍①
10	腫瘍の分類と代表的な腫瘍②
11	エナメル上皮腫
12	口腔外科診療
13	救急蘇生法
14	歯科麻酔①
15	歯科麻酔②
16	まとめ

IV 成績評価

ミニテスト、定期テスト

V 教科書

口腔外科・歯科麻酔学(医歯薬出版)

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	高齢者歯科学・障がい者歯科学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	村上明日香	担当教員	採用予定

I 教育目標

高齢者と障がい者の特長を理解し関連する疾患とその治療およびリハビリテーションについて学習する。

II 到達目標

高齢者と障がい者の特長と、関連する疾患とその治療およびリハビリテーションについて説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	高齢者をとりまく社会とその環境
2	加齢による身体的・精神的変化と疾患
3	高齢者に関わる医療と介護
4	高齢者における歯科衛生課程
5	障がい者歯科とは
6	障がい者歯科に関わる法律
7	障がい者と薬剤
8	障害の種類と特徴

IV 成績評価

ミニテスト、定期試験

V 教科書

高齢者歯科学・障害者歯科学(医歯薬出版)

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	歯科放射線学・歯科麻酔学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	富田美穂子	担当教員	採用予定

I 教育目標

歯科診療におけるエックス線検査の役割、重要性について学習する。

II 到達目標

歯科診療におけるエックス線検査の役割、重要性について説明できるようになる。

III 学習内容(シラバス)

1	歯科医療と放射線
2	エックス線画像の形成
3	歯科におけるエックス線検査
4	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割
5	パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割
6	写真処理と画像保管の実際
7	放射線治療と口腔管理
8	まとめ

IV 成績評価

ミニテスト、定期テスト

V 教科書

歯科放射線学・口腔外科学・(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科予防処置Ⅰ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	眞継奈緒子	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯科予防処置に必要な知識および技術を習得する。

II 到達目標

歯科予防処置の定義を説明し、それに必要な基礎知識を身につける。

III 学習内容(シラバス)

1	総論・法的位置づけ・予防の概念・歯科予防処置の内容
2	口腔の基礎知識
3	歯科衛生士介入としての歯科予防処置①
4	歯科衛生士介入としての歯科予防処置②
5	歯科衛生士介入としての歯科予防処置③
6	歯科衛生士介入としての歯科予防処置④
7	歯科衛生士介入としての歯科予防処置⑤
8	まとめ

IV 成績評価

小テストおよびマークシート問題

V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 歯科診療補助論(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科予防処置論Ⅱ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	眞継奈緒子	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯科予防処置に必要な知識および技術を習得する。

II 到達目標

口腔疾患を予防し、歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な専門的知識、技術及び態度を習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	患者様ガイダンス①
2	患者様ガイダンス②
3	偶発事故
4	口腔内観察①
5	口腔内観察②
6	相互実習ガイダンス
7	歯面研磨
8	洗浄・貼薬・防湿・まとめ

IV 成績評価

小テストおよびマークシート問題、出席率で総合的に判断する。

V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 歯科診療補助論(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	歯科予防処置Ⅲ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	眞継奈緒子	担当教員	採用予定

I 教育目標

歯科予防処置(う蝕について)に必要な知識および技術を習得する。

II 到達目標

歯科予防処置(う蝕について)の定義を説明し、それに必要な応用知識を習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	う蝕予防処置総論①
2	う蝕予防処置総論②
3	う蝕予防処置各論①
4	う蝕予防処置各論②
5	う蝕予防処置各論③
6	う蝕予防処置各論④
7	う蝕予防処置各論⑤
8	う蝕予防処置各論⑥

IV 成績評価

小テストおよびマークシート問題、出席率、提出物を考慮する。

V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 歯科診療補助論(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科予防処置演習Ⅰ	単位・時間数	2単位・64時間
	講師	眞継奈緒子他	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯科予防処置に必要な知識および技術を習得する。

II 到達目標

基本的な操作方法、マネキンや学生相互間演習にて器具の操作方法を学び予防的歯石除去を習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	身だしなみ、マネキン①	17	マネキン⑩縁下テスト
2	マネキン②	18	口腔内観察①
3	マネキン③	19	口腔内観察②
4	マネキン④	20	プロービング
5	マネキン⑤	21	エキスポローリング
6	マネキン⑥	22	拡大鏡
7	マネキン⑦	23	拡大鏡
8	マネキン⑧縁上テスト	24	歯面研磨②
9	マネキン⑨	25	歯面研磨②
10	マネキン⑩	26	相互スケーリング(基礎)
11	マネキン⑪	27	相互スケーリング(前歯)
12	マネキン⑫	28	相互スケーリング(上顎臼歯)
13	マネキン⑬	29	相互スケーリング(下顎臼歯)
14	マネキン⑭	30	相互スケーリング(振り返り)
15	マネキン⑮	31	実技試験(歯面研磨)
16	マネキン⑯縁下テスト	32	実技試験(歯面研磨)

IV 成績評価

小テストおよびマークシート問題 実技試験 出席率 提出物で総合的に判断する。

V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)、歯科診療補助論(医歯薬出版)
必要に応じて資料配布

2026年医学アカデミー—歯科衛生士学科

2年	科目 歯科予防処置演習Ⅱ	単位・時間数 2単位・64時間
	講師 眞継奈緒子他	担当教員 採用予定

I 教育目標

歯科予防処置に必要な知識および技術を習得する。

II 到達目標

個々の口腔環境に応じて歯科予防処置の必要性とその技術を習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	患者様へのオリエンテーション	17	実技試験③
2	口腔内診査	18	実技試験④
3	相互演習①	19	歯科衛生士課程総論①
4	相互演習②	20	歯科衛生士課程総論②
5	相互演習③	21	歯科衛生士課程総論③
6	相互演習④	22	歯科衛生士課程総論④
7	相互演習⑤	23	歯科衛生士課程総論⑤
8	相互演習⑥	24	歯科衛生士課程総論⑥
9	相互演習⑦	25	歯科衛生士課程各論①
10	相互演習⑧	26	歯科衛生士課程各論②
11	相互演習⑨	27	歯科衛生士課程各論③
12	相互演習⑩	28	歯科衛生士課程各論④
13	実施記録①	29	小窩裂溝填塞①
14	実施記録②	30	小窩裂溝填塞②
15	実技試験①	31	まとめ
16	実技試験②	32	まとめ

IV 成績評価

小テストおよびマークシート問題 実技試験 出席率 提出物で総合的に判断する。

V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 歯科診療補助論(医歯薬出版)
必要に応じて資料配布

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	歯科予防処置演習Ⅲ	単位・時間数	1単位・32時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

う蝕予防処置法を理解する。

II 到達目標

基礎的な予防処置、カリエスリスクなどを理解し適応した施術を習得する

III 学習内容(シラバス)

1	患者管理①
2	患者管理②
3	う蝕予防処置基礎①
4	う蝕予防処置基礎②
5	実技試験①
6	実技試験②
7	患者実習①
8	患者実習②
9	う蝕活動試験①
10	う蝕活動試験②
11	フッ化物応用①
12	フッ化物応用②
13	カリエスアセスメント①
14	カリエスアセスメント②
15	予防処置復習実習①
16	予防処置復習実習②

IV 成績評価

小テストおよびマークシート問題 出席率 提出物総合的に評価する。

V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論 歯科診療補助論(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科保健指導Ⅰ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	遠藤美香沙	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯科衛生士として保健指導を実施するのに必要な知識を学ぶ。

II 到達目標

口腔衛生管理の具体的な方法や使用する用具、口腔の状態を数値化する方法を身につける。

III 学習内容(シラバス)

1	歯科保険指導総論①
2	歯科保険指導総論②
3	ブラッシング法
4	補助的清掃用具
5	指数①
6	指数②
7	指数③
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科保健指導Ⅱ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	遠藤美香沙他	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯科衛生士として対象者別(ライフステージ別)の保健指導の介入方法を学ぶ。

II 到達目標

ライフステージに合った口腔衛生管理の具体的な方法や使用する用具、口腔の状態を数値化する方法を身につける。

III 学習内容(シラバス)

1	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(妊産期)①
2	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(妊産期)②
3	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(乳幼児期)①
4	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(乳幼児期)②
5	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(学齢期)①
6	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(学齢期)②
7	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(青年期)①②
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	歯科保健指導Ⅲ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	遠藤美香沙	担当教員	採用予定

I 教育目標

歯科衛生士として対象者別（ライフステージ別・生活環境別）の保健指導の介入方法を学ぶ。

II 到達目標

ライフステージに合った口腔衛生管理の具体的な方法や使用する用具、口腔の状態の数値化と、その他として生活環境別指導ができるようになる。

III 学習内容(シラバス)

1	歯科保健指導Ⅱの振り返り
2	ライフステージに対応した歯科衛生士介入（成人期）①②
3	ライフステージに対応した歯科衛生士介入（老年期）①
4	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入（老年期）②
5	う蝕リスクに対する指導
6	喫煙者に対する指導
7	ドライマウス（口腔乾燥）に対する指導
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	摂食嚥下リハビリテーション学	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	山崎裕子	担当教員	採用予定

I 教育目標

口腔機能管理の意義を学び、全身疾患との関連を理解し上で、リハビリテーションについての知識を学習する。

II 到達目標

口腔機能管理の意義を学び、全身疾患との関連を理解し上で、リハビリテーションについて説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	総論
2	摂食嚥下のメカニズム
3	小児
4	障害及びケアプロセス
5	間接訓練
6	直接訓練
7	臨床で応用
8	まとめ

IV 成績評価

終講試験(課題レポート)で総合的に判断する。

V 教科書

必要に応じて資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科保健指導演習Ⅰ	単位・時間数	1単位・32時間
	講師	遠藤美香沙	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

歯科保健指導Ⅰ・Ⅱを下に、基礎的な保健指導の実践的な能力を修得する。

II 到達目標

歯科保健指導Ⅰ・Ⅱを下に、基礎的な保健指導ができる。

III 学習内容(シラバス)

1	
2	ブラッシング法①
3	ブラッシング法②
4	補助用具①
5	補助用具②
6	TBI口頭試問①
7	TBI口頭試問②
8	術者磨き①
9	術者磨き②
10	う蝕リスクに対する指導①
11	う蝕リスクに対する指導②
12	喫煙者に対する指導
13	ドライマウスに対する指導
14	症例検討①
15	症例検討②
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験(筆記・実技)で総合的に判断する。

V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	歯科保健指導演習Ⅱ	単位・時間数	1単位・32時間
	講師	遠藤美香沙	担当教員	採用予定

I 教育目標

歯科保健指導Ⅰ・Ⅱを下に、基礎的な保健指導の実践的な能力を修得する。

II 到達目標

歯科保健指導Ⅰ・Ⅱを下に、基礎的な保健指導ができる。

III 学習内容(シラバス)

1	歯周病リスク、口臭に対する指導
2	矯正治療とは
3	電動歯ブラシ①
4	電動歯ブラシ②
5	障害児に対する保険指導
6	臨床の保健指導①
7	臨床の保健指導②
8	食育①
9	食育②
10	小集団指導①
11	小集団指導②
12	情報収集整理法①
13	情報収集整理法②
14	口腔吸引①
15	口頭吸引②
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験(筆記・実技)で総合的に判断する。

V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	歯科保健指導演習Ⅲ	単位・時間数	1単位・32時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

歯科保健指導Ⅰ・Ⅱを下に、基礎的な保健指導の実践的な能力を修得する。

II 到達目標

歯科保健指導Ⅰ・Ⅱを下に、基礎的な保健指導ができる。

III 学習内容(シラバス)

1	施設保健指導媒体作り①
2	施設保健指導媒体作り②
3	施設保健指導媒体作り③
4	施設保健指導媒体作り④
5	施設保健指導媒体作り⑤
6	施設保健指導媒体作り⑥
7	施設保健指導媒体作り⑦
8	学外演習(ガイダンス)
9	学外演習(施設訪問①)
10	学外演習(施設訪問②)
11	要介護者の指導
12	全身疾患の診療室での対応
13	浸潤麻酔基本知識
14	口腔内写真(11枚法)①
15	口腔内写真(11枚法)②
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験(筆記・実技)で総合的に判断する。

V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科診療補助 I	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	小林巳都梨	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

様々なライフステージにおいて歯科医療の専門的な医療補助に関わる知識、技術だけでなく態度も身につける。

II 到達目標

歯科診療補助が円滑に行われるように歯科治療の流れを理解した上で、アシスタントワークに必要な知識を習得する

III 学習内容(シラバス)

1	授業ガイダンス
2	歯科診療補助の概要
3	医療安全感染予防
4	診療室の整備・管理①
5	診療室の整備・管理②
6	衛生材料
7	滅菌消毒と予防
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

歯科診療補助論(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科診療補助Ⅱ	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	小林巳都梨	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

様々なライフステージにおいて歯科医療の専門的な医療補助に関わる知識、技術だけでなく態度も身につける。

II 到達目標

歯科診療補助が円滑に行われるように歯科治療に用いられる、器具器材、薬品などについて習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	共同動作Ⅰ
2	共同動作Ⅱ-①
3	共同動作Ⅱ-②
4	歯科材料総論
5	印象材①
6	印象材②
7	模型材①
8	模型材②
9	主要材料の取り扱い①
10	主要材料の取り扱い②
11	補綴装置と材料①
12	補綴装置と材料②
13	仮封材料、ワックス歯科材料
14	成形歯冠修復材料
15	まとめ
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

歯科診療補助論(医歯薬出版)

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	歯科診療補助Ⅲ	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	小林巳都梨	担当教員	採用予定

I 教育目標

様々なライフステージにおいて歯科医療の専門的な医療補助に関わる知識、技術だけでなく態度も身につける。

II 到達目標

歯科診療補助が円滑に行われるように歯科治療（診療室・在宅訪問など）の実際を対象者別（代表的な疾患別）に学び、習得する。

III 学習内容（シラバス）

1	医療安全管理①
2	医療安全管理②
3	診療補助（矯正）
4	診療補助（保存修復）
5	全身疾患偶発症への対応
6	診療補助（口腔外科）
7	診療補助（保存診療）
8	診療補助（補綴診療）
9	診療補助（高齢歯科）
10	診療補助（障害者歯科）
11	診療補助（口腔外科）①
12	診療補助（口腔外科）②
13	全身疾患・在宅訪問時の歯科診療補助①
14	全身疾患・在宅訪問時の歯科診療補助②
15	まとめ
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

歯科診療補助論（医歯薬出版）

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	歯科診療補助演習Ⅰ	単位・時間数	1単位・32時間
	講師	塚田邦枝	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

様々なライフステージにおいて歯科医療の専門的な医療補助に関わる知識、技術だけでなく態度も身につける。

II 到達目標

歯科診療補助が円滑に行われるように医療共同作業の実際と、歯科材料に取り扱い方法について学び習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	共同作業Ⅰ-①
2	共同動作Ⅰ-②
3	共同動作Ⅱ-①
4	共同動作Ⅱ-②
5	共同動作Ⅱ-③
6	共同動作Ⅱ-④
7	歯科材料の取り扱い①
8	歯科材料の取り扱い②
9	印象材①
10	印象材②
11	模型材①
12	模型材②
13	主要材料の取り扱い①
14	主要材料の取り扱い②
15	まとめ
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験(筆記・実技)で総合的に判断する。

V 教科書

歯科診療補助論(医歯薬出版)

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	歯科診療補助演習Ⅱ	単位・時間数	1単位・32時間
	講師	塚田邦枝	担当教員	採用予定

I 教育目標

様々なライフステージにおいて歯科医療の専門的な医療補助に関わる知識、技術だけでなく態度も身につける。

II 到達目標

歯科診療補助が円滑に行われるように補助演習の基礎と疾患別補助について学び習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	ラバーダム(マネキン)①
2	ラバーダム(マネキン)②
3	ラバーダム(相互実習)①
4	ラバーダム(相互実習)②
5	全身疾患・偶発症への対応①
6	全身疾患・偶発症への対応②
7	診療補助(保存診療)①
8	診療補助(保存診療)②
9	診療補助(補綴診療)①
10	診療補助(補綴診療)②
11	診療補助(高齢歯科)①
12	診療補助(高齢歯科)②
13	診療補助(障がい者歯科)①
14	診療補助(障がい者歯科)②
15	まとめ
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験(筆記・実技)で総合的に判断する。

V 教科書

歯科診療補助論(医歯薬出版)

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	歯科診療補助演習Ⅲ	単位・時間数	1単位・32時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

様々なライフステージにおいて歯科医療の専門的な医療補助に関わる知識、技術だけでなく態度も身につける。

II 到達目標

歯科診療補助が円滑に行われるように補助演習の基礎と疾患別(分野)補助について学び習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	診療補助(保存修復)①
2	診療補助(保存修復)②
3	超音波スケーラー使用時のバキューム操作①
4	超音波スケーラー使用時のバキューム操作②
5	超音波スケーラー使用時のバキューム操作③
6	超音波スケーラー使用時のバキューム操作④
7	診療補助(小児歯科)①
8	診療補助(小児歯科)②
9	連合印象
10	連合印象～仮封
11	プロビジョナル①
12	プロビジョナル②
13	保存修復(ホワイトニング)
14	歯科外科処置
15	まとめ
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験(筆記・実技)で総合的に判断する。

V 教科書

歯科診療補助論(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	臨床検査法	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	小林雄輔	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

一般臨床検査の目的・倫理と安全について理解し検査の種類と検査値の評価について学習する。

II 到達目標

一般臨床検査の目的・倫理と安全について理解し検査の種類と検査値の評価について説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	臨床検査とは
2	検査の種類
3	検査成績の読み方
4	生体検査
5	脈拍と血圧 肺機能、筋電図、脳波、血中酸素濃度
6	検体検査
7	病態別検査値のとらえかた
8	まとめ

IV 成績評価

レポート課題により評価する。

V 教科書

臨床検査(医歯薬出版)

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	臨地実習Ⅰ	単位・時間数	12単位・540時間
	講師	臨地実習指導者	担当教員	採用予定

I 教育目標

基本駅な歯科衛生士三大業務(診療補助・予防処置・保健指導)を臨床現場で指導者の下、体験・学習する。

II 到達目標

上記内容について、臨床実習指導者の管理・監督の下で実践し、適切な記録を作成する。

III 学習内容(シラバス)

学校が指定した臨地実習施設で規定時間の臨地実習をおこなう。

※詳細は臨地実習Ⅰの手引きにて説明する。

IV 成績評価

学内事前実習評価、施設実習評価、学内事後評価総を総合的に判断する

V 教科書

臨地実習Ⅰの手引き

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	臨地実習Ⅱ	単位・時間数	8単位・360時間
	講師	臨床実習指導者	担当教員	採用予定

I 教育目標

実際の臨床現場で症例に合わせて実習指導者の下、歯科衛生士業務を体験・学習する。

II 到達目標

上記内容について、臨床実習指導者の管理・監督の下で実践し、適切な記録を作成する。

III 学習内容(シラバス)

学校が指定した臨地実習施設で規定時間の臨地実習をおこなう。

※詳細は臨地実習Ⅱの手引きにて説明する。

IV 成績評価

学内事前実習評価、施設実習評価、学内事後評価を総合的に判断する

V 教科書

臨地実習Ⅱの手引き

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	特別教養科目	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	遠藤美香沙他	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

医学アカデミー歯科衛生士学科の教育目標を理解し、学生生活に求められる態度と姿勢について学ぶ。

II 到達目標

医学アカデミー歯科衛生士学科の学生としての教養を身につける。

III 学習内容(シラバス)

1	学生生活について
2	学生生活についてのグループディスカッションとまとめ
3	身だしなみ・持ち物・出欠確認について①
4	身だしなみ・持ち物・出欠確認について②
5	受講時の注意点(対面授業)
6	受講時の注意点(オンデマンド配信授業)
7	課題レポート作成の仕方
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	総合講義 I	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	小林巳都梨他	担当教員	遠藤美香沙

I 教育目標

医療法、社会保障制度の体系を把握し、医療保険制度を理解する。

II 到達目標

医療診療記録(カルテ)から歯科治療内容を理解し、診療報酬の点数化と請求業務まで理解できるようになる。

III 学習内容(シラバス)

1	医療法・医療保障制度の概要
2	医療報酬請求(保険請求)の仕組みについて
3	各論①小児予防処置、小児治療、歯周治療の点数算定
4	各論②歯髄炎、歯根膜炎の処置、歯冠修復処置の点数算定
5	各論③抜歯と手術、欠損補綴(技師、ブリッジ)の点数算定
6	歯科診療受付総論
7	歯科診療受付各論
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・課題レポートで総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	総合講義Ⅱ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	小林巳都梨他	担当教員	採用予定

I 教育目標

臨地実習の教育目標・到達目標を理解し、その行動計画を立案できるようになる。

II 到達目標

臨地実習の教育目標・到達目標を理解し、その行動計画(事前学習計画を含み)を立案する。

III 学習内容(シラバス)

1	臨地実習とは(概論:種類・期間・目的など)
2	臨地実習とは(各論:事前準備)①
3	臨地実習とは(各論:事前準備)①
4	臨地実習とは(各論:事前準備)①
5	臨地実習とは(各論:事前準備)①
6	臨地実習計画書の作成①
7	臨地実習計画書の作成②
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・課題レポートで総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1年	科目	総合科目Ⅰ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	小林巳都梨	担当教員	遠藤美香沙

Ⅰ 教育目標

医学アカデミー歯科衛生士学科の1年生に必要な知識、技術の再学習をする。

Ⅱ 到達目標

医学アカデミー歯科衛生士学科の1年生に必要な知識、技術の再習得する。

Ⅲ 学習内容(シラバス)

1	基礎分野①
2	基礎分野②
3	専門基礎分野①
4	専門基礎分野②
5	専門基礎分野③
6	専門分野①
7	専門分野②
8	まとめ

Ⅳ 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

Ⅴ 教科書

資料配布

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	総合科目Ⅱ	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	眞継奈緒子他	担当教員	採用予定

I 教育目標

医学アカデミー歯科衛生士学科の2年生に必要な知識、技術の再学習をする。

II 到達目標

医学アカデミー歯科衛生士学科の2年生に必要な知識、技術の再習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	基礎分野①
2	基礎分野②
3	専門基礎分野①
4	専門基礎分野②
5	専門分野①
6	専門分野②
7	専門分野③
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

配布資料

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	総合科目Ⅲ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

医学アカデミー歯科衛生士学科の3年生に必要な知識、技術の再学習をする。

II 到達目標

医学アカデミー歯科衛生士学科の3年生に必要な知識、技術の再習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	基礎分野①
2	基礎分野②
3	専門基礎分野①
4	専門基礎分野②
5	専門基礎分野③
6	専門基礎分野④
7	専門基礎分野⑤
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験(課題レポート)で総合的に判断する。

V 教科書

配布資料

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	総合科目Ⅳ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

医学アカデミー歯科衛生士学科の3年生に必要な知識、技術の再学習をする。

II 到達目標

医学アカデミー歯科衛生士学科の3年生に必要な知識、技術の再習得する。

Ⅲ 学習内容(シラバス)

1	専門分野①
2	専門分野②
3	専門分野③
4	専門分野④
5	専門分野⑤
6	専門分野⑥
7	専門分野⑦
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験(課題レポート)で総合的に判断する。

V 教科書

配布資料

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	総合学習Ⅰ	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

Ⅰ 教育目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を身につける。

Ⅱ 到達目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を習得する。

Ⅲ 学習内容(シラバス)

1	基礎歯科医療1―①
2	基礎歯科医療1―②
3	基礎歯科医療1―③
4	基礎歯科医療1―④
5	基礎歯科医療1―⑤
6	基礎歯科医療1―⑥
7	基礎歯科医療1―⑦
8	基礎歯科医療1―⑧
9	基礎歯科医療1―⑨
10	基礎歯科医療1―⑩
11	基礎歯科医療1―⑪
12	基礎歯科医療1―⑫
13	基礎歯科医療1―⑬
14	基礎歯科医療1―⑭
15	基礎歯科医療1―⑮
16	まとめ

Ⅳ 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

Ⅴ 教科書

資料配布

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	総合学習Ⅱ	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を身につける。

II 到達目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	基礎歯科医療2―①
2	基礎歯科医療2―②
3	基礎歯科医療2―③
4	基礎歯科医療2―④
5	基礎歯科医療2―⑤
6	基礎歯科医療2―⑥
7	基礎歯科医療2―⑦
8	基礎歯科医療2―⑧
9	基礎歯科医療2―⑨
10	基礎歯科医療2―⑩
11	基礎歯科医療2―⑪
12	基礎歯科医療2―⑫
13	基礎歯科医療2―⑬
14	基礎歯科医療2―⑭
15	基礎歯科医療2―⑮
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	総合学習Ⅲ	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を身につける。

II 到達目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	臨床歯科医療1―①
2	臨床歯科医療1―②
3	臨床歯科医療1―③
4	臨床歯科医療1―④
5	臨床歯科医療1―⑤
6	臨床歯科医療1―⑥
7	臨床歯科医療1―⑦
8	臨床歯科医療1―⑧
9	臨床歯科医療1―⑨
10	臨床歯科医療1―⑩
11	臨床歯科医療1―⑪
12	臨床歯科医療1―⑫
13	臨床歯科医療1―⑬
14	臨床歯科医療1―⑭
15	臨床歯科医療1―⑮
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	総合学習Ⅳ	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を身につける。

II 到達目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	臨床歯科医療2―①
2	臨床歯科医療2―②
3	臨床歯科医療2―③
4	臨床歯科医療2―④
5	臨床歯科医療2―⑤
6	臨床歯科医療2―⑥
7	臨床歯科医療2―⑦
8	臨床歯科医療2―⑧
9	臨床歯科医療2―⑨
10	臨床歯科医療2―⑩
11	臨床歯科医療2―⑪
12	臨床歯科医療2―⑫
13	臨床歯科医療2―⑬
14	臨床歯科医療2―⑭
15	臨床歯科医療2―⑮
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	総合学習Ⅴ	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を身につける。

II 到達目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	基礎歯科衛生1―①
2	基礎歯科衛生1―②
3	基礎歯科衛生1―③
4	基礎歯科衛生1―④
5	基礎歯科衛生1―⑤
6	基礎歯科衛生1―⑥
7	基礎歯科衛生1―⑦
8	基礎歯科衛生1―⑧
9	基礎歯科衛生1―⑨
10	基礎歯科衛生1―⑩
11	基礎歯科衛生1―⑪
12	基礎歯科衛生1―⑫
13	基礎歯科衛生1―⑬
14	基礎歯科衛生1―⑭
15	基礎歯科衛生1―⑮
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	総合学習Ⅵ	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を身につける。

II 到達目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	基礎歯科衛生2－①
2	基礎歯科衛生2－②
3	基礎歯科衛生2－③
4	基礎歯科衛生2－④
5	基礎歯科衛生2－⑤
6	基礎歯科衛生2－⑥
7	基礎歯科衛生2－⑦
8	基礎歯科衛生2－⑧
9	基礎歯科衛生2－⑨
10	基礎歯科衛生2－⑩
11	基礎歯科衛生2－⑪
12	基礎歯科衛生2－⑫
13	基礎歯科衛生2－⑬
14	基礎歯科衛生2－⑭
15	基礎歯科衛生2－⑮
16	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	総合学習Ⅶ	単位・時間数	2単位・32時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を身につける。

II 到達目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	臨床歯科衛生1―①
2	臨床歯科衛生1―②
3	臨床歯科衛生1―③
4	臨床歯科衛生1―④
5	臨床歯科衛生1―⑤
6	臨床歯科衛生1―⑥
7	臨床歯科衛生1―⑦
8	臨床歯科衛生1―⑧
9	臨床歯科衛生1―⑨
10	臨床歯科衛生1―⑩
11	臨床歯科衛生1―⑪
12	臨床歯科衛生1―⑫
13	臨床歯科衛生1―⑬
14	臨床歯科衛生1―⑭
15	臨床歯科衛生1―⑮
16	臨床歯科衛生1―⑯

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2027年医学アカデミー歯科衛生士学科

3年	科目	総合学習Ⅷ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を身につける。

II 到達目標

社会に求められる歯科衛生士の知識、技術を習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	臨床歯科衛生2－①
2	臨床歯科衛生2－②
3	臨床歯科衛生2－③
4	臨床歯科衛生2－④
5	臨床歯科衛生2－⑤
6	臨床歯科衛生2－⑥
7	臨床歯科衛生2－⑦
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験(課題レポート)で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	選択科目 I	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	長浦舞由	担当教員	採用予定

I 教育目標

診療場面で英語圏の患者様に対応できる言語能力を身につける。

II 到達目標

診療場面で英語圏の患者様に初歩的な誘導ができるようになる。

III 学習内容(シラバス)

1	初診時の主訴を聴きだす(電話対応含む)
2	症状の確認
3	治療前の誘導
4	問診(症状確認)
5	治療の案内
6	X線撮影の案内・誘導
7	再診の案内
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験(課題レポート)で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	選択科目Ⅱ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

良質な審美歯科医療を提供するために、臨床で求められる基本的な知識を習得する。

II 到達目標

審美歯科学を簡潔に説明する。

III 学習内容(シラバス)

1	歯科医療における歯科審美学について学ぶ
2	審美歯科に使用する材料
3	ホワイトニングに用いる材料と術式
4	審美修復における歯冠修復の要点
5	歯科審美臨床の具体的な対応
6	ホームホワイトニングについて
7	相互演習
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験(課題レポート)で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	選択科目Ⅲ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	塩原雄太	担当教員	採用予定

I 教育目標

金融の活用、リスクなどについて学ぶ。

II 到達目標

運用方法の種類・活用方法の種類について理解する。

Ⅲ 学習内容(シラバス)

1	イントロダクション
2	貨幣と信用
3	銀行信用の本質と信用創造
4	当座預金と手形決済
5	内国為替
6	外国為替
7	負債とリスク
8	金融行政 まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験(課題レポート)で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	選択科目Ⅳ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	小林巳都梨	担当教員	採用予定

I 教育目標

臨床実習について振り返る。

II 到達目標

臨床実習のレポートの書き方を習得する。

III 学習内容(シラバス)

1	臨床実習症例レポート検討①
2	臨床実習症例レポート検討②
3	臨床実習症例レポート検討③
4	臨床実習症例レポート検討④
5	臨床実習症例レポート検討⑤
6	臨床実習症例レポート検討⑥
7	臨床実習症例レポート検討⑦
8	臨床実習症例レポート検討⑧

IV 成績評価

課題レポートで判断する。

V 教科書

資料配布

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	選択科目Ⅴ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	塚田邦枝	担当教員	採用予定

I 教育目標

歯科衛生士に求められる基礎的な知識(基礎歯科医学・基礎歯科衛生学)を深め、歯科治療介入への基礎を身につける。

II 到達目標

歯科衛生士に求められる基礎的な知識(基礎歯科医学・基礎歯科衛生学)を身につけ、歯科治療介入への基礎を理解する。

III 学習内容(シラバス)

1	基礎歯科医学①
2	基礎歯科医学②
3	基礎歯科医学③
4	基礎歯科医学④
5	基礎歯科医学⑤
6	基礎歯科医学⑥
7	基礎歯科医学⑦
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布

2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2年	科目	選択科目Ⅵ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	採用予定	担当教員	採用予定

I 教育目標

歯科衛生士に求められる基礎的な知識(基礎歯科医学・基礎歯科衛生学)を深め、歯科治療介入への基礎を身につける。

II 到達目標

歯科衛生士に求められる基礎的な知識(基礎歯科医学・基礎歯科衛生学)を身につけ、歯科治療介入への基礎を理解する。

III 学習内容(シラバス)

1	臨床実習総まとめ①
2	臨床実習総まとめ②
3	臨床実習総まとめ③
4	臨床実習総まとめ④
5	臨床実習総まとめ⑤
6	臨床実習総まとめ⑥
7	臨床実習総まとめ⑦
8	まとめ

IV 成績評価

授業毎の小テスト・終講試験で総合的に判断する。

V 教科書

資料配布